

ご新規お客様への ガスの使い方講座

ホームガス課 東山 晃



改めまして、明けましておめでとうございます。

昨年は私にとって変化の年、4月からアポロ興産ホームガス課配送充填グループが発足し、グループ長としていろいろな仕事に取組み、沢山のひととお話をさせて頂きました。

中でも8月から行いました辰巳燃料店さんからの切替えでは、対象となった皆様にご協力、ご迷惑をおかけしました。おかげ様を持ちまして、無事にガスを供給させて頂いています。突然の訪問、連絡になってしまったにも関わらず快くお話を聞いて下さった皆様、本当にありがとうございました。

今後とも変わらぬお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今回のアポロ新聞2月号は、冒頭でご挨拶させて頂きました昨年ご新規のお客様となりました辰巳燃料店さんからのお客様向けに、当社アポロ興産の基本的なガスの使い方を、少しですがご案内させて頂きたいと思います。

まずガスの使い方ですが、訪問時にもお話しさせて頂きましたが、家庭用の場合、お客様で操作して頂くのは主に元栓～器具までとなります。元栓の開け閉めやストーブ等で使われる場合のガスコンセントへのホースの付け外しです。

今まで、自分でポンベのバルブの開閉や調整器（ポンベからホースでつながっている器具）を操作されていたというお話をよく聞きましたが、当社では必要ありません。ガスを交換させて頂いた際に、配送員がバッチリ設定して来てくれますので、お客様にお手間はかけません！

稀に、使用量の増加や長時間の使用（ストーブや煮炊き）で安全装置が働きガスが止まってしまうことがあります。

特に季節の変わり目や新しくガス器具を設置した場合におこるのですが、ポンベの近くに取り付けてあるガスメーターの黒いボタンを押していただき、少し待っていただければ使えるようになります。少し待つというのがミソです！

もちろん、当社にご連絡いただければ、電話での対応もさせて頂きますし、原因も説明させて頂きますので、お気軽にご連絡下さい。

その際には、メーターの〇〇〇←この部分（液晶部）に表示されるアルファベットを教えて頂ければ、原因の解明もスムーズにすすみますので、確認して頂けるとありがたいです。



その他、安全にガスをご利用して頂くための機能が、メーターやガスの元栓には備わっています。思わぬトラブルやガス器具の購入に関するご相談、リフォームに関するご相談も、お電話1本頂ければ迅速に対応させて頂きますし、ポンベの交換にお伺いした際にでも結構です。

また、使わなくなった古い小型のガスポンベ等ございましたら、そちらも回収させて頂きますので、倉庫の掃除をしていたら古い容器が出てきたというようなことがございましたら、ご一報いただけましたら幸いです。

説明ばかりになってしまいましたが、我々配送グループはガスと一緒に、安全を届けさせて頂きますので、本年も変わらぬ御ひいき賜りますようよろしくお願い致します。



アポロ新聞

コンクリートの悩み相談

リビングサービス課 大森 カ

リフォームの仕事をしているといろいろな悩みの相談を頂きます。今回はコンクリートに関する悩み2つのアドバイスを紹介します。

ご相談

ホームセンターで高圧洗浄機を購入しました。

早速、駐車スペースの土間やブロック塀・家の基礎部分を洗浄しました。

汚れは落ちるのですがどうもコンクリートの表面がザラザラになっていることに気づきました。家の基礎部分も、ところどころ削れているように見えます。コンクリートは強いと思っていました。



回答

コンクリートも劣化します。アルカリ性のコンクリート

はいわゆる酸性雨によって表面から浸食されます。

形成される内容物にもよりますが、その劣化速度が10年で約1センチの浸食ともいわれています。

駐車スペースの土間コンクリートも、表面のセメント成分が破壊され砂や砂利の骨材が露出してきます。

こうなってくるとこまめに洗浄しないと表面に埃や苔・カビが停滞しやすくなります。

しかしながら家の基礎部分が削れた件は注意が必要です。家の基礎部分は建築物の中でも最もセメント配合量が多く強いコンクリートですが、その表面にはモルタルや薄く塗れるセメント系の化粧材を使用されていることが多いです。

これらは高圧洗浄に耐えられないと思いますので高圧ではあまり洗浄しないように。なにか塗装をされていないか事前にご確認ください。

メンテナンスのつもりが傷めつけてしまった！と後悔の無いように。

経年劣化で、表面が浸食したコンクリートは、汚れがつきやすくなります。

ご相談

5年前の新築時に淡いグレーのコンクリートがキレイだと思い、ほとんどの地面に使用しましたが、今ではテラスからの雨水で黒く薄汚れ、亀の甲状にひび割れしているところもあります。



回答

コンクリートは無機質な土木資材ですが、時にそのクールな質感をデザインとして計画します。しかしながら、無機質な質感に経年劣化の見た目が耐え難いのも事実です。

先の回答と重なりますが、コンクリートは必ず劣化します。その原因は、路盤・配筋・形・誘発目地設置・適正配合や厚さなどさまざまです。※誘発目地とは、コンクリートの亀裂を想定した位置にあらかじめ入れ、ひび割れを誘発するための目地。

ちなみに亀の甲状にクラックが入るのはモルタルのケースで多く見られます。

塗料や補修材を上から薄く塗る一次的な解決をするか、モルタルをめくって打ちなおすことになりそうです。まわりの状況により可能であれば、その上からタイルや洗出し仕上げもオススメです。

黒ずみ対策は、やはりこまめに洗浄すること。テラスやカーポートを新設する場合、雨水の樋を近くの雨水会所にコンクリートの下で配管しておくことも有効です。